

令和元年度事業報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

当協会は、内閣府の認定を受けた公益社団法人であり、「近畿地区において、海の恩恵を始めとする海事思想の普及宣伝を行い、もって一般国民の海事に関する知識の啓発を図り、あわせて海事産業の発展を期することにより、平和を希求する海洋国家日本の経済社会の維持発展と国民生活の安定向上に寄与すること」を目的としています。

近畿運輸局をはじめ、関係機関・関係諸団体・関係業界各位並びに会員の皆様方のご支援のお陰をもちまして、令和元年度の公益目的事業等を実施することができましたので、その概要をご報告申し上げます。

I、公益目的事業

1、体験活動等（公益目的事業区分4）

（1）船との出会い事業「海の教室」

四面環海で海からの恵みを受け、国民生活の基盤を海外との貿易・海上輸送に依存しているわが国では、海運・造船・船用工業・港湾・物流などの海事産業の果たすべき役割が極めて重要であり、青少年や一般市民のみなさんに海事産業の重要性を理解してもらい、海に対する関心を高めてもらうことが不可欠です。

このため、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業「船との出会い事業」と連携し、特に若い世代の海への理解を深めるとともに、教育現場の理解を得るため、関係団体・事業者・学校・教育委員会などの協力を得て、各種船舶の乗船体験、船舶・港湾・造船所・倉庫・海洋博物館など海事産業関連施設の見学を行う体験型学習会「海の教室」を近畿運輸局との共催により実施しました。

今年度は、近畿各地の中学校（約1,100校）及び各地区の関係先に「船との出会い事業「海の教室」参加者募集チラシや冊子「日本の海運 SHIPPING NOW」を配布するとともに、近畿若年内航船員確保推進協議会、舞鶴海事産業協会、和歌山県海運協会、紀南海運協会等の海事・物流関係団体と連携し、次のとおり実施することができました。

1. 乗船体験会及び海事産業関連施設見学会

令和元年6月21日 「サンタマリア」乗船体験会（船長のお話し、船内見学、救命胴衣着用体験、ロープワーク教室、大阪港クルーズ）&「海の大切さと船員の仕事」講演（上窪良和さん）を大阪市・大阪港で実施した。（大阪市立弁天小学校5年生・築港小学校5年生と先生119名参加）

〃 7月2日 「瀬峡ウォータージェット船」乗船体験会（船長さんのお話し、熊野川見学）を和歌山県新宮市・熊野川で実施した。（北山村立北山小学校1～6年生と先生27名参加）

- 〃 7月15日 【海の日体験学習】泉佐野の海を知ろう、「キッズボート」自己操縦乗船体験会を大阪府泉佐野市・海の駅「いずみさの関空マリーナ」で実施した。(泉佐野市在住の小学4～6年生と保護者82名参加)
- 〃 7月25日 「紀の松島めぐり観光船」乗船体験会(湾内見学)&紀州勝浦市場(漁協組合員のお話し、マグロの市場見学)・くじらの博物館見学会(学芸員によるくじら講座、イルカとのふれあい、館内展示見学)を和歌山県那智勝浦町勝浦港・太地町太地港で実施した。(すさみ町立江住小学校2～6年生と先生14名参加)
- 〃 7月26日 親子で探検!「造船所ってどんなところ」(造船所を見学して、大型船の建造方法と事業所の歴史についてのお勉強)を京都府舞鶴市・ジャパンマリンユナイテッド(株)舞鶴事業所で実施した。(一般公募小学3年生以上～中学生と保護者13名参加)
- 〃 8月1日 神戸大学附属練習船「深江丸」体験航海(船橋や機関室の見学・ロープワーク・明石海峡航路見学)&講演「海運の重要性と船員の仕事」を兵庫県神戸市・神戸大学海事科学部深江キャンパスで実施した。(科学技術高校生と教諭18名参加)
- 〃 8月31日 「南海フェリー」乗船体験会(海と船に関する講話・船内見学・ライフジャケット着用体験)&神例造船所徳島工場見学会を和歌山市・和歌山港、徳島市・徳島港で実施した。(公募小学4年生以上と保護者21名参加)
- 〃 10月1日 「瀬峡ウォータージェット船」乗船体験会(船長のお話し、熊野川見学)を和歌山県新宮市・熊野川で実施した。(那智勝浦立太田小学校1～6年生と先生37名参加)
- 〃 10月4日 グラスボート乗船体験会&串本海中公園センター見学会(水族館飼育体験・海中展望塔見学)を和歌山県新宮市熊野川、串本町・串本港で実施した。(すさみ町立周参見小学校6年生と先生27名参加)
- 〃 10月10日 「サンタマリア」乗船体験会(船長のお話し、船内見学、救命胴衣着用体験、ロープワーク教室、大阪港内見学)&「海遊館」見学会(学校の遠足)を大阪市・大阪港で実施した。(大阪市立都島中学校3年生と先生71名参加)
- 〃 10月11日 「サンタマリア」乗船体験会(船長のお話し、船内見学、救命胴衣着用体験、ロープワーク教室、大阪港内見学)&「海遊館」見学会(学校の遠足)を大阪市・大阪港で実施した。(大阪市立晴明丘南小学校3.4年生と先生105名参加)
- 〃 10月24日 「サンタマリア」乗船体験会(船長のお話し、船内見学、

ロープワーク教室、大阪港クルーズ)を大阪市・大阪港で実施した。(大阪市立南市岡小学校3年生と先生41名参加)

〃 10月29日 「サンタマリア」乗船体験会(船長のお話し、船内見学、大阪港内クルーズ)&「海遊館」見学会(学校の遠足)を大阪市・大阪港で実施した。(大阪市立市岡小学校2年生と先生74名参加)

2、海の日キャンペーン・海の月間（公益目的事業区分8）

（1）「海の日」・「海の月間」関連行事広報事業

国民の祝日「海の日」を迎えるに当たり、国土交通省主唱の下、各地で実施される「海の月間」には、各関係機関のご支援並びに関係諸団体のご協力をいただき各種関連行事が行われました。

大阪地区では「海の月間実行委員会」を組織し、各運輸支局・海事事務所所在地においても関係団体が連携し、青少年をはじめ広く一般市民の海の恩恵に対する関心を高め、海や海事産業の重要性を認識してもらうことを目的とした多彩な催しが行われました。

当協会は、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業である「海の日」・「海の月間」関連行事広報と連携し、近畿地区で行われる各種イベントについて令和元年「海の月間」行事案内を作成し当協会ホームページや「海の時刻表（7月発行）」に掲載し、関係団体が開催する「海の日」・「海の月間」行事と連携して広報資料や海の日グッズを配布するなど、国民の祝日「海の日」（海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日）の意義を理解してもらうための広報活動を行いました。

（2）「海の日」表彰候補者の推薦と「海の日」表彰式典・祝賀会

令和元年「海の日」にあたり、大阪では、7月19日（金）に海遊館ホールにおいて、近畿運輸局・大阪海上保安監部の主催による海事関係功労者表彰式典が多数のご来賓の出席をいただき盛大に行われるとともに、「中学生海の絵画コンクール」と「海の写真コンクール」の近畿運輸局長賞・大阪海上保安監部長賞・大阪府知事賞・大阪市長賞の表彰が行われました。

引き続き、海事産業の重要性を再認識するための啓発活動として、各種関係団体のご協賛をいただき、当協会主催による「海の日祝賀会」をホテルシーガルてんぼーざん大阪において開催し、受賞者を中心に同伴家族・一般参加者（受賞者の知人等）・行政・報道・海事関係者の皆様方とともに、国民の祝日「海の日」をお祝いすることにより、海事産業の業務に精励してきた方々への感謝を表すとともに、「海の日」の意義が広く一般市民に理解され定着するよう海事広報活動を行いました。

また、舞鶴・和歌山・勝浦の運輸支局・海事事務所においても、それぞれ関係者のご出席をいただき海事関係功労者表彰式と海の日祝賀会が行われました。

当協会は、「海の日」表彰候補者の推薦について広く一般に周知するとともに、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」の推薦と、海事関

係事業の従事者として永年勤続された方々の「海事関係功労者表彰」の候補者を推薦しました。

当日、海事関係功労者表彰の栄に輝かれた方々は、いずれも多年にわたり海事関係の業務に従事され功績のあった方々であり、受賞者の内訳は、国土交通大臣表彰 12 名、近畿運輸局長表彰 48 名、国土交通大臣（感謝状）1 名、海上保安庁長官（感謝状）4 名、第五管区海上保安本部長（感謝状）10 名、第八管区海上保安本部長（感謝状）5 名、大阪海上保安監部長（感謝状）2 名、和歌山海上保安部長（感謝状）1 名、舞鶴海上保安部長（感謝状）2 名の方々でした。

3、表彰、コンクール（公益目的事業区分 14）

（1）第 56 回中学生海の絵画コンクール

わが国は、海からの恵みを受け、国民生活の安定向上と産業活動の維持発展の基盤を、海外貿易と海上輸送に依存する四面環海の国であり、海運・造船・船用工業・港湾・物流などの海事産業の働きは極めて重要です。

このため、次代を担う中学生から「海の絵画」を募集することにより、海事に関する関心を高め、海事知識を深めてもらうことを目的に、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、（株）日本海事新聞社の後援のもとに実施しました。

本年も近畿各地の中学校・絵画教室（約 1,100 校）及び関係先に募集チラシを配布し、船舶・港・海の生物・海や船で働く人・海の環境保全など海を自由に表現した絵を募集したところ、42 校・234 点の応募がありました。

審査は、山中卓・平井洋子両先生にお願いし、金賞 1 点（近畿運輸局長賞）、特別賞 1 点（大阪海上保安監部長賞）、銀賞 2 点（大阪府知事賞・大阪市長賞）、銅賞 6 点（近畿海事広報協会会長賞）、佳作 30 点（同）を決定し表彰するとともに、受賞作品を当協会ホームページ・フェイスブック及び機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載しました。

また、「海事関係功労者表彰式典」で金賞（近畿運輸局長賞）、特別賞（大阪海上保安監部長賞）、銀賞（大阪府知事賞・大阪市長賞）の表彰状を授与するとともに、銅賞・佳作の受賞者に対する賞状・賞品と参加者への参加賞を各中学校に送付しました。

金賞（近畿運輸局長賞）には、松原市立松原中学校 3 年・森川恵太さんの「紅の港」、特別賞（大阪海上保安監部長賞）には、茨木市立養精中学校 3 年・高橋陽菜さんの「海の命と半壊の未来」、銀賞（大阪府知事賞）には、泉佐野市立長南中学校 3 年・日根野谷思希さんの「竜宮の使い」、銀賞（大阪市長賞）には、大阪市立花乃井中学校 2 年・藪井初音さんの「広い海の世界へ」が受賞しました。

また、2016 年度より全国中学生絵画コンクール（主催：公益財団法人日本海事広報協会）と統合された、第 47 回「我ら海の子展」（主催：一般財団法人サークルクラブ協会・公益社団法人日本海洋少年団連盟）中学生の部に、全ての応募作品を団体として応募しました。

「我ら海の子展」の東京で行われた審査会において、「佳作」に京都市立下鴨中学校 3 年生倉橋果奈さんの「海の主」が受賞しました。

なお、第47回「我ら海の子展」受賞作品展は、銀座ギャラリー・国土交通省1階ロビーなどで開催されました。

(2) 第53回中学生海の作文コンクール

中学生海の絵画コンクールと同様に、次代を担う中学生に海や船に対する関心を深めてもらうため、近畿運輸局、大阪府教育委員会、大阪府教育委員会、(株)日本海事新聞社の後援を得て、本年も近畿各地の中学校約1,100校及び関係先に募集チラシを配布し、海や船などを題材とする作文を募集したところ、17校275点の応募がありました。

審査を高田文月先生(大阪文学学校講師)をお願いし、金賞1点(近畿運輸局長賞)、銀賞3点(近畿海事広報協会会長賞)、銅賞6点(同)、佳作30点(同)を決定しました。

金賞は、京都市立北野中学校2年・清水珀登さんの「謎多き海の月、くらげ」、銀賞は、帝塚山中学校1年・森駿介さんの「海洋汚染について考える」、近畿大学附属中学校3年・中島梨乃さんの「アンモナイト」、近畿大学附属中学校1年・幾島誉さんの「富山湾の神秘」が受賞しました。

上位10点の受賞作品については、当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに、全受賞作品を当協会ホームページ及びフェイスブックで公表し、受賞者に対する賞状・賞品と参加者への参加賞を各中学校に送付しました。

(3) 第41回海の写真コンクール

「海の日」・「海の月間」関連行事の一つとして、海・船・港・海運・造船等の海事産業への関心を深め、海事知識の啓発・向上を図るため、湖・川・魚などを含め広く海に関係するテーマの写真を、地域・年齢などは問わず全国から募集しました。

この事業は、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、(公財)関西・大阪21世紀協会、(株)海遊館、(一社)日本長距離フェリー協会、(一社)日本海事代理士会、(株)日本海事新聞社、(株)海事プレス社の後援のもと、(公財)海上保安協会大阪支部、大阪府港湾協会、(公社)大阪港振興協会、大阪写真材料商業組合、大阪フェリー協会、近畿旅客船協会、の協賛と大阪水上バス(株)、近江トラベル(株)、(株)サンスターライン、四国開発フェリー(株)、新日本海フェリー(株)、太平洋フェリー(株)、南海フェリー(株)、阪九フェリー(株)、琵琶湖汽船(株)、(株)フェリーさんふらわあ、宮崎カーフェリー(株)、(株)名門大洋フェリーの各船社からの協力を得て実施しました。

本年もホームページでの広報や関係先への募集チラシの配布により、海をテーマとした写真を募集したところ、全国各地より399名、1,295点の応募があり、塚田澄子先生(全日本写真連盟関西本部委員)を中心に後援・協賛団体の代表者を交えた審査員による審査会を開催し、推薦1・特選2・特別賞2・準特選6・入選29、計40点の受賞を決定しました。

推薦(近畿運輸局長賞)は廣瀬靖之さん(大阪府)の「港の華」、特選の(大阪府知事賞)は中尾盛幸さん(大阪府)の「悠久の灯光」、(大阪市長賞)は

脇森茂隆さん（大阪府）の「welcome」、特別賞の（大阪海上保安監部長賞）は藤本宜志さん（長崎県）の「雨あがりの接岸」、（（一社）日本長距離フェリー協会会長賞）は西田恵子さん（大阪府）の「出初式の整列」、準特選の（大阪商工会議所会頭賞）は内田尚宏さん（大阪府）の「歓迎」、（（公財）関西・大阪21世紀協会理事長賞）は上杉裕昭さん（三重県）の「大阪の春」、（（株）海遊館社長賞）は山崎隆朗さん（大阪府）の「光るジンベイ」、（（株）日本海事新聞社社長賞）は雪本信彰さん（高知県）の「渦潮の海」、（（株）海事プレス社長賞）は山本健太郎さん（愛媛県）の「たくさん拾って!」、（（一社）日本海事代理士会会長賞）は因幡繁之さん（岩手県）の「あこがれ」が受賞しました。

全ての受賞作品を当協会の機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに公式ホームページとフェイスブックで公表しました。

また、一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業である「ボートレース場等を活用したイベント」として、ボートレース場・ボートピアにおいて「第41回海の写真コンクール受賞作品展」を次のとおり開催しました。

1. 「住之江ボートレース場」
実施時期 令和元年10月15日（火）～11月30日（土）
入場者数 来場者 171,218人
2. 「びわこボートレース場」
実施時期 令和元年10月15日（火）～11月30日（土）
入場者数 来場者 37,100人
3. 「ボートピア梅田」
実施時期 令和元年10月15日（火）～11月30日（土）
入場者数 来場者 244,788人
4. 「ボートピア京都やわた」
実施時期 令和元年10月15日（火）～11月30日（土）
入場者数 来場者 62,345人

4、上記の事業区分に該当しない事業（公益目的事業区分18）

（1）海事知識の普及事業

一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業として、「海の日」・「海の月間」関連行事やボートレース場等で行われている下記イベント会場において、小中学生を中心とした児童向けの海事知識普及のための資料や海の日グッズなどの配布を行なうことにより、海事知識の普及事業を実施しました。

1. 海の月間にあわせた海事知識の普及事業
実施時期 令和元年7月1日（月）～31日（水）
実施場所 大阪府大阪市「住之江ボートレース場・ボートピア梅田」
参加者数 ファン入場者数 158,936名・158,461名
2. びわこファミリーカーニバル2019「ペアボート試乗会」「びわこ少年少女

ゴムボート大会」における海事知識の普及事業

実施時期 令和元年7月21日(日)

実施場所 滋賀県大津市「びわこボートレース場」

参加者数 びわこファミリーカーニバル入場者 約2,200名

3. キッズカフェ 海の月間にあわせた海事知識の普及事業

実施時期 令和元年7月13日(土)～15日(月)

実施場所 京都府八幡市「ボートピア京都やわた」

参加者数 ボートピア京都やわたキッズルーム入場者 約350名

4. 2019 住之江フェスティバル(ボートレースブース)における海事知識の普及事業

実施時期 令和元年11月10日(日)

実施場所 大阪府大阪市「住之江ボートレース場」

参加者数 住之江フェスティバル入場者数 約3,500人

II、その他事業(相互扶助等の事業)

1、他団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行・配布

(1) 他団体との連携事業

海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の共催・協賛・後援等を行ないました。

1. 第67回 港まつり花火大会(和歌山港振興協会)の協賛
2. 大阪港港湾功労者表彰式における被表彰者の推薦
3. 海の日海上安全祈願祭(大阪船主会・(公財)海上保安協会大阪支部)の共催
4. “「海の日」のつどい&交流会”など諸事業(京都「海の日」実行委員会)の協力
5. 令和元年「海の日」記念行事(海南下津港湾振興会)の協力
6. 第45回マリンスクール((株)串本海中公園センター)の後援
7. 天神祭渡御行事(大阪商工会議所)の協賛
8. 第67回大阪地方海事団体硬式庭球大会(大阪地方海事団体硬式庭球大会運営委員会)の後援
9. 令和元年度「白浜の海から学ぼう体験乗船」(全日本海員組合)の協力
10. 第46回堺港まつり(堺港湾振興会)の協賛
11. 新年海上安全祈願祭(大阪船主会・(公財)海上保安協会大阪支部)の共催

(2) 会議等

1. 平成31年4月18日(木) 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
2. 平成31年4月23日(火) 於：大阪市 日本船舶職員養成協会近畿
(一財)日本船舶職員養成協会近畿第8回評議員会
3. 令和元年5月16日(木) 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会

4. 令和元年5月17日（金） 於：大阪市 第一大阪港ビル
（公社）大阪港振興協会監査
5. 令和元年5月28日（火） 於：岸和田市 岸和田市立浪切ホール
令和元年度岸和田港振興協会総会
6. 令和元年5月29日（水） 於：大阪市 第一大阪港ビル
（公社）大阪港振興協会令和元年度第1回理事会
7. 令和元年5月30日（木） 於：大阪市 アートホテル大阪ベイタワー
令和元年度（公財）海上保安協会大阪支部総会
8. 令和元年6月4日（火） 於：貝塚市 貝塚港湾労働者福祉センター
貝塚港湾振興会令和元年度通常総会
9. 令和元年6月5日（水）・6日（木） 於：東京都 海事センタービル
令和元年度全国海事広報協会事務局長会議
10. 令和元年6月7日（金） 於：大阪市 大阪港湾労働者福祉センター
（一財）大阪港湾福利厚生協会令和元年度定時評議員会
11. 令和元年6月7日（金） 於：泉大津市 ホテルきらりリゾート関空
泉大津港湾振興会令和元年度通常総会
12. 令和元年6月12日（水） 於：大阪市 大阪港湾合同庁舎
令和元年度大阪地区海難防止強調運動推進連絡会議
13. 令和元年6月18日（火） 於：舞鶴市 西駅交流センター
令和元年度海難防止強調運動日本海西部地方推進連絡会議
14. 令和元年6月19日（水） 於：大阪市 第一大阪港ビル
（公社）大阪港振興協会令和元年度定時総会
15. 令和元年6月20日（木） 於：大阪市 近畿運輸局
第56回中学生海の絵画コンクール審査会
16. 令和元年6月25日（火） 於：大阪市 近畿運輸局
第41回海の写真コンクール審査会
17. 令和元年7月12日（金） 於：大阪市 大阪市役所本庁舎
大阪港港湾功労者表彰式
18. 令和元年7月15日（海の日） 於：舞鶴市 舞鶴赤れんがパーク
京都「海の日」のつどい&交流会
19. 令和元年7月16日（火） 於：大阪市 近畿運輸局
「海事関係功労者表彰式典・海の日祝賀会」打ち合わせ会
20. 令和元年7月19日（金） 於：大阪市 海遊館ホール・ホテルシーガルてんぽーざん大阪
令和元年「海の日」海事関係功労者表彰式典・祝賀会
21. 令和元年7月25日（木） 於：大阪市 住吉大社
令和元年「海の日」海上安全祈願祭
22. 令和元年7月31日（水） 於：大阪市 近畿運輸局
令和元年度近畿若年内航船員確保推進協議会
23. 令和元年8月8日（木） 於：大阪市 ホテルニューオータニ大阪
（株）サンスターライン創立20周年記念式典
24. 令和元年8月22日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会

25. 令和元年 9 月 19 日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル
阪港振興倶楽部午餐会
26. 令和元年 9 月 27 日（金） 於：大阪市 第一大阪港ビル
講演会「世界のコンテナ港とターミナルオペレーターの現状」
27. 令和元年 10 月 2 日（水）～11 月 7 日（木） 於：大阪市 大阪文学学校
第 53 回中学生海の作文コンクール審査
28. 令和元年 10 月 17 日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
29. 令和元年 11 月 18 日（月） 於：大阪市 大阪港勤労福祉会館
大阪港勤労福祉会館・みなと住宅複合施設竣工記念祝賀会
30. 令和元年 11 月 21 日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
31. 令和元年 11 月 29 日（金） 於：大阪市 第一大阪港ビル
「内航海運・フェリー業界の現状と課題」発行記念講演会
32. 令和元年 12 月 12 日（木） 於：和歌山市 和歌山港フェリーターミナル
南海フェリー(株)新造船「フェリーあい」内覧会
33. 令和元年 12 月 16 日（月） 於：大阪市 大阪科学技術センター
公益法人の運営に関する簡易セミナー
34. 令和元年 12 月 19 日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
35. 令和 2 年 1 月 9 日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部新年祝賀交歓会
36. 令和 2 年 1 月 20 日（月） 於：大阪市 住吉大社
令和 2 年新年海上安全祈願祭
37. 令和 2 年 2 月 20 日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
38. 令和 2 年 2 月 25 日（火） 於：大阪市 大阪合同庁舎第 4 号館
改正油賠法（船舶油濁等損害賠償保障法）説明会
39. 令和 2 年 3 月 6 日（金） 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部令和 2 年度通常総会
40. 令和 2 年 3 月 17 日（火） 於：大阪市 第一大阪港ビル
（公社）大阪港振興協会令和元年度第 3 回理事会

（3）海事広報宣伝物等の発行・配布

海洋環境について理解を深め、海や海事産業に親しみを深めてもらうため、（公財）日本海事広報協会をはじめとする海事関係団体等で作成された冊子・パンフレットなどの海事知識普及資料や海の日グッズ等を、「海の日」・「海の月間」関連行事や各港湾の港祭りなどの各種イベント参加者に配布しました。

主な海事広報宣伝物等の発行・配布は次のとおりです。

1. 近畿海事広報協会たより（1 月・7 月の年 2 回発行）
2. 海上の友（毎月 1 回配布）
3. 日本の海運 SHIPPING NOW2019-2020（中学校等へ配布）

4. ぼくとわたしのシップガイド（各種イベント等で配布）
5. 海の日グッズ等（各種イベント等で作成・配布）
6. 2020 世界の帆船カレンダー（会員・関係者へ作成・配布）

Ⅲ、庶務事項

（１）総 会

令和元年 5 月 13 日（月） 於：大阪市 ホテルプリムローズ大阪

1. 平成 30 年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. 役員の一部改選に関する件

（２）理事会

① 平成 31 年 4 月 19 日（金） 【書面による理事・監事全員の同意】

1. 平成 30 年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. 2019（令和元）年度通常総会招集の承認に関する件
3. 役員の一部改選に関する件
4. 顧問等委嘱の承認に関する件

② 令和元年 5 月 13 日（月） 於：大阪市 ホテルプリムローズ大阪

1. 報告事項：代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

③ 令和元年 7 月 22 日（月） 於：大阪市 第一大阪港ビル 8 階会議室

1. 公益社団法人近畿海事広報協会会長（代表理事）交代に関する件
2. 顧問等委嘱の承認に関する件
3. 報告事項：代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

④ 令和 2 年 3 月 2 日（月） 於：大阪市 第一大阪港ビル 8 階会議室

1. 令和 2 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認に関する件
2. 会員資格取得（入会）の承認に関する件
株式会社大阪アサヒメタル工場様の入会を承認
3. 「（公社）近畿海事広報協会定款」の一部改正に関する件
4. 役員の任期満了に伴う改選に関する件
5. 報告事項：代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

（３）監査

1. 平成 31 年 4 月 8 日（月） 於：大阪市 当協会事務所
当協会監事による平成 30 年度事業並びに収支状況の監査

（４）その他

① 内閣府申請事項

1. 令和元年 5 月 15 日 事業報告等に係る提出書（平成 30 年度）
2. 令和元年 5 月 24 日 変更届出書（役員の一部改選）
3. 令和元年 7 月 10 日 変更届出書（役員の辞任）

4. 令和元年 8 月 1 日 変更届出書（役員の辞任・代表理事の変更）
5. 令和 2 年 3 月 4 日 事業計画書等に係る提出書（令和 2 年度）

② 法務局法人登記事項

1. 令和元年 5 月 15 日 変更登記申請書（理事の変更）
2. 令和元年 6 月 28 日 変更登記申請書（理事の変更）
3. 令和元年 7 月 23 日 変更登記申請書（理事・代表理事の変更）

③ 法人税減免申請事項

1. 平成 31 年 4 月 4 日 大阪市法人市民税減免申請書

令和元年度 決算報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

(1) 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増 減(A-B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,101,944	2,032,415	69,529
前払金	123,900	121,520	2,380
未収金	200,279	0	200,279
立替金	95,000	93,400	1,600
流動資産合計	2,521,123	2,247,335	273,788
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
事業特別積立資産	5,000,000	5,000,000	0
(2) その他固定資産			
事務所契約敷金	362,550	362,550	0
固定資産合計	5,362,550	5,362,550	0
資産合計	7,883,673	7,609,885	273,788
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	110,098	-110,098
前受金	100,000	100,000	0
預り金	47,137	78,973	-31,836
流動負債合計	147,137	289,071	-141,934
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	147,137	289,071	-141,934
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	7,736,536	7,320,814	415,722
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
正味財産合計	7,736,536	7,320,814	415,722
負債及び正味財産合計	7,883,673	7,609,885	273,788

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

(2) 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	470	880	-410	
特定資産受取利息	470	880	-410	
受取会費	8,730,000	8,750,000	-20,000	
普通会员	8,480,000	8,500,000	-20,000	
その他の会員	250,000	250,000	0	特別会員、賛助会員
事業収益	6,179,190	6,138,000	41,190	
受託事業収益	4,449,190	4,403,000	46,190	日本海事広報協会 日本モーターボート競走会
協賛金収益	1,730,000	1,735,000	-5,000	海の日祝賀会等
受取負担金	107,400	206,800	-99,400	
受取負担金	107,400	206,800	-99,400	和歌山県海運組合等
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	39,529	41,895	-2,366	
受取利息	34	25	9	
雑収益	39,495	41,870	-2,375	日本海事広報協会等
経常収益計	15,056,589	15,137,575	-80,986	
(2) 経常費用				
事業費	12,322,277	12,863,087	-540,810	
制作費	132,400	198,550	-66,150	海の月間関係
イベント開催費	1,354,360	1,590,840	-236,480	海の日祝賀会等
広報宣伝物費	887,259	937,820	-50,561	海事広報資料作成・購入
表彰費	361,731	364,118	-2,387	各種コンクール関係
給料手当	2,731,713	2,680,000	51,713	
事務局嘱託料(給料手当)	1,200,000	1,200,000	0	船との出会い事業
臨時雇賃金	1,004,000	901,250	102,750	
福利厚生費	597,743	584,821	12,922	
会議費	19,840	34,670	-14,830	
旅費交通費	356,270	393,388	-37,118	通勤費を含む
通信運搬費	531,895	568,152	-36,257	
消耗品費	263,310	280,502	-17,192	
印刷製本費	839,824	778,056	61,768	
賃借料	1,033,796	1,267,966	-234,170	船賃・バス・借室料等
事務管理費(賃借料)	574,000	582,000	-8,000	借室料等
保険料	59,784	75,636	-15,852	
諸謝金	180,000	200,000	-20,000	審査料等
支払負担金	39,500	41,500	-2,000	共催行事等
支払助成金	125,000	125,000	0	各地区海の月間行事等
雑費	29,852	58,818	-28,966	

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
管理費	2,318,590	2,251,301	67,289	
給料手当	682,929	670,000	12,929	
臨時雇賃金	205,750	339,500	-133,750	
福利厚生費	149,436	146,206	3,230	
会議費	521,965	473,355	48,610	総会・理事会等
旅費交通費	76,410	88,472	-12,062	通勤費等
通信運搬費	171,089	149,579	21,510	
消耗品費	61,044	56,664	4,380	
印刷製本費	123,594	20,520	103,074	
賃借料	145,444	139,824	5,620	借室料・共益費等
支払負担金	131,500	130,000	1,500	各種会費等
雑費	49,429	37,181	12,248	
経常費用計	14,640,867	15,114,388	-473,521	
当期経常増減額	415,722	23,187	392,535	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計				
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計				
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	415,722	23,187	392,535	
一般正味財産期首残高	7,320,814	7,297,627	23,187	
一般正味財産期末残高	7,736,536	7,320,814	415,722	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	7,736,536	7,320,814	415,722	

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。